

2023年度
学校関係者評価報告書

学校法人ザイナスアカデミー

専門学校ザイナス I T 専門大学校

目 次

| | | |
|------|-----------------|---|
| I | 学校関係者評価の概要と実施状況 | 1 |
| 1. | 学校関係者評価の目的と基本方針 | 1 |
| 2. | 学校関係者評価委員出席者名簿 | 1 |
| 3. | 学校関係者評価委員会の実施状況 | 1 |
| 4. | 学校関係者評価委員会の実施方法 | 1 |
| 5. | 学校関係者評価の評価方法 | 2 |
| II | 学校関係者評価委員会報告 | 2 |
| 1. | 重点項目について | 2 |
| 2. | 基準項目について | 4 |
| (1) | 教育理念・目的 | 4 |
| (2) | 学校運営 | 4 |
| (3) | 教育活動 | 5 |
| (4) | 学修成果 | 6 |
| (5) | 学生支援 | 6 |
| (6) | 教育環境 | 7 |
| (7) | 学生の受入れ募集 | 7 |
| (8) | 財務 | 8 |
| (9) | 法令等の遵守 | 8 |
| (10) | 国際交流 | 9 |

I. 学校関係者評価の概要と実施状況

1. 学校関係者評価の目的と基本方針

【目的】

専門学校ザイナスIT専門大学校の自己評価の客観性・透明性を高め、本校と密接に関係する企業および団体・個人の理解促進や連携協力による学校運営の改善並びに教員の指導力向上を図る。

【基本方針】

関連業界等関係者、教育に知見を有する者、在留外国人法規に関し知見を有する者により、学校関係者評価委員会を構成し、教育理念・目標、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生の受け入れ募集、財務、法令等の遵守、国際交流を主とした評価項目において行った自己評価結果を踏まえた今後の課題と改善策が適切であるか等、自己評価結果の客観性・透明性を高め、その評価結果や今後の改善策等についてとりまとめ、広く公表する。

学校は、その評価結果を改善方策の検討において活用し、次年度の重点目標の設定や学校運営、教育活動等について具体的に改善を図ることで財務基盤の安定、教育水準の向上に努めることを目的とする。

なお、学校関係者評価委員会の定数は3名とし、任期は原則3年とする。

2. 学校関係者評価委員出席者名簿

| 種別 | 氏名 | 所属（役職） |
|--------------|--------|-------------------------------|
| 関連業界等関係者 | 山本 竜伸 | 株式会社 INSPIRATION PLUS 代表取締役社長 |
| 教育に知見を有する者 | 薬師寺 十郎 | 株式会社まるひで 顧問（元県職員） |
| 在留資格に知見を有する者 | 伊藤 精 | 特定行政書士事務所代表 |

3. 学校関係者評価委員会の実施状況

実施日時： 2024年6月13日（木）15：00～16：00

場 所： 専門学校ザイナスIT専門大学校 2階校長室

4. 学校関係者評価委員会の実施方法

2023年度の活動実績に対し学校関係者評価委員と学校とで十分な意見交換を行い、学校の状況について共通理解を深めた。

自己点検・評価報告書に基づき、基準項目の自己評価結果および課題や改善策について、下記のポイントに留意しながら評価を行った。

（1）自己評価結果の内容が適切かどうか

- (2) 今後の解決方法が適切かどうか
- (3) 学校の運営改善に向けた取り組みが適切かどうか
- (4) その他、学校の運営に関する助言

5. 学校関係者評価の評価方法

基準項目ごとに、自己点検・評価と同じく達成度による下記の評価基準によって評価し、基準ごとに自己評価結果が適正であるかどうかを評価した。
自己評価結果に対する学校関係者評価の結果は基準項目ごとに表記している。
また、意見についても取りまとめて記載している。

【評価基準】

- 4：達成度が極めて高い
- 3：ほぼ達成している
- 2：達成がやや不十分であり、若干改善を要する
- 1：達成は不十分で改善を要する（不適合）

II. 学校関係者評価委員会報告

1. 重点項目について

【重点項目】

- ・教育理念・育成人材像に沿ったカリキュラムの質の向上
- ・学生の出席率の向上のための取り組み強化
- ・就職率の向上のための取り組み強化

【取組み状況ならびに成果と課題】

- ・座学授業で授業の理解度の確認などが十分に行われているとは言えず、意欲や理解度などによる学習成果の差が開き二極化が進んでいる。
- ・2022年度の学生の出席率は82%であったのに対し、2023年度は88%に改善された。積極的に学生とのコミュニケーションを深め、個別相談など学校側から学生に積極的に連絡するよう取り組んでいる。
- ・2022年度の就職・進学率は90%（卒業生10人中、就職7名、進学1名、起業1名）であったのに対し、2023年度は50%（卒業生10人中就職2名、進学3名）になった。就職率が低下した要因は、企業への就職アプローチが遅れたことと、試験、面談等の事前準備が充分でなかったことが要因と思われる。

【委員からのご意見】

- ・生徒の理解度の差については、能力に応じた学級編成や理解度テストなどによる理解度確認を通じて学生が理解するまでフォローアップする取組みが必要ではないか。

- ・出席率向上について、対前年比では向上しているものの毎年100%を目指して取り組んで欲しい。積極的な学生とのコミュニケーションは良い取り組みであり評価するが、学生が授業に出席したいと思うような授業内容、取組みに期待したい。
- ・就職・進学率について、学校の評価に直結することから就職・進学率100%を目指して取り組んで欲しい。例えば、大分在住の当校の卒業生との情報交換や大学コンソーシアムおおいたとの連携、情報交換、イベント研究等を行うことも検討して欲しい。

2. 基準項目について

(1) 教育理念・目的

| 評価項目 | 自己点検評価 | 学校関係者評価 |
|---|--------|---------|
| ・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか） | 4 | 4 |
| ・学校における職業教育の特色は何か | 4 | 4 |
| ・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想は抱いているか | 4 | 4 |
| ・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか | 3 | 2 |
| ・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか | 4 | 4 |

【課題】

- ・学校の理念・目的・育成人材等明確になっているが、学生への周知という点は不十分ではないか。

【今後の改善方策】

- ・学校理念・目標の校内掲示版、教室への貼付。一部授業時間を使用した学生への学校理念・目標の説明が必要。

【委員からのご意見】

- ・学校理念・目標の学生への周知に対して、学生手帳、冊子など学生が常に携帯するものを検討していただきたい。

(2) 学校運営

| 評価項目 | 自己点検評価 | 学校関係者評価 |
|---|--------|---------|
| ・目的等に沿った運営方針が策定されているか | 4 | 4 |
| ・運営方針に沿った事業計画が策定されているか | 4 | 4 |
| ・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか | 4 | 4 |
| ・人事、給与に関する規程等は整備されているか | 4 | 4 |
| ・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか | 4 | 4 |
| ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか | 4 | 4 |
| ・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか | 3 | 3 |
| ・情報システム化等による業務の効率化が図られているか | 2 | 2 |

【課題】

- ・教育活動に関する情報公開が不十分である。また、情報システム化等による業務の効率化

も遅れている。

【今後の改善方策】

- ・シラバスの情報公開、授業内容等の公開を検討していただきたい。
- 情報システム化については、オンライン授業の推進、モニターを使った授業、youtube配信による授業を検討していただきたい。

【委員からのご意見】

- ・学校を知っていただく意味でも、入学者募集の意味でも、教育活動の情報公開は必須な時代となっているのでホームページ、SNS等を有効利用して欲しい。
- ・情報のシステム化については、コストを伴うが、学校運営上、時代の流れでもあるので早急に対応していただきたい。

（3）教育活動

| 評価項目 | 自己点 検評価 | 学校関係 者評価 |
|--|------------|-------------|
| ・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか | 4 | 4 |
| ・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか | 4 | 4 |
| ・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか | 4 | 4 |
| ・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか | 4 | 4 |
| ・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか | 3 | 3 |
| ・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか | 3 | 3 |
| ・授業評価の実施・評価体制はあるか | 4 | 4 |
| ・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか | 2 | 2 |
| ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか | 4 | 4 |
| ・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか | 4 | 4 |
| ・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか | 4 | 4 |
| ・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか | 3 | 3 |
| ・関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか | 3 | 3 |
| ・職員の能力開発のための研修等が行われているか | 3 | 3 |

【課題】

- ・教育に対する外部関係者の評価については、不十分である。

【今後の改善方策】

- ・技術の進歩の著しい業界にあって、育成人材像に沿った教育を整備・実施するため、教育課程編成委員会等で実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムの見直し及び定期的なカリキュラムの改訂をしていただきたい。

【委員からのご意見】

- ・授業についていけない学生へのフォローアップ、予習・復習の徹底を図っていただきたい。
- ・授業課題について適切な量だが、学生にとって追加課題が必要と判断した場合は追加課題等を準備していただきたい。

(4) 学修成果

| 評価項目 | 自己点検評価 | 学校関係者評価 |
|--|--------|---------|
| ・就職率の向上が図られているか | 2 | 2 |
| ・出席率の向上が図られているか | 3 | 3 |
| ・資格取得率の向上が図られているか | 4 | 4 |
| ・退学率の低減が図られているか | 3 | 3 |
| ・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか | 3 | 3 |
| ・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか | 4 | 4 |

【課題】

- ・就職率の低下が問題である。

【今後の改善方策】

- ・企業への就職アプローチ、試験・面談等の事前準備が不十分であったことが原因。就職に関するイベントを年間スケジュールで取りまとめ事前対策を怠らず、遅延等ないよう学生に対し適切にフォローしていくこと。

【委員からのご意見】

- ・就職率は学生にても学校にても死活問題である。早急に就職に関するイベントの年間スケジュールを作成し、具体的な学生へのフォロー項目を策定すること。
- ・企業訪問、大分在住の当校の卒業生との情報交換や大学コンソーシアムおおいたとの連携、情報交換、イベント研究等を行うこと。

(5) 学生支援

| 評価項目 | 自己点検評価 | 学校関係者評価 |
|----------------------------|--------|---------|
| ・進路・就職に関する支援体制は整備されているか | 4 | 4 |
| ・学生相談に関する体制は整備されているか | 4 | 4 |
| ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか | 3 | 3 |
| ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか | 4 | 4 |
| ・課外活動に対する支援体制は整備されているか | 3 | 3 |
| ・学生の生活環境への支援は行われているか | 3 | 3 |
| ・卒業生への支援体制はあるか | 4 | 4 |
| ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか | 4 | 4 |

【課題】

- ・留学生への経済的支援のみならず、生活習慣面、アルバイト紹介等生活全般にわたったフォローが出来ていない。

【今後の改善方策】

- ・大分中央警察署警備課、福岡出入国管理局大分と連携を強化し、留学生の生活面、安全面においても配慮して欲しい。警察及び大学コンソーシアムおおいたに留学生制度、防犯講義など依頼したらどうか。

【委員からのご意見】

- ・学校内に留学生選任スタッフを配置しており、担任を中心とした教員全員とともに適切な支援を行っている。
- ・多様性のある外国人留学生が増えているため、学内、学外（大学コンソーシアムおおいた等）の支援制度の活用、見直しも継続していただきたい。

(6) 教育環境

| 評価項目 | 自己点検評価 | 学校関係者評価 |
|--|--------|---------|
| ・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか | 3 | 3 |
| ・学内外の実習施設、インターンシップ、について十分な教育体制を整備しているか | 4 | 4 |
| ・防災に対する体制は整備されているか | 3 | 3 |

【課題】

- ・学生1人1台のパソコン等の機材が不足している。

【今後の改善方策】

- ・パソコンの購入を検討していただきたい。また、youtube配信による講義など情報システム化により効率化を進めて欲しい。

【委員からのご意見】

- ・令和6年4月1日付けの新校舎への移転により防災対策の強化、学習施設の拡充が図られることから今後の取り組みとして評価する。

(7) 学生の受入れ募集

| 評価項目 | 自己点検評価 | 学校関係者評価 |
|------------------------------|--------|---------|
| ・学生募集活動は、適切に行われているか | 4 | 4 |
| ・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか | 3 | 3 |
| ・学納金は妥当なものとなっているか | 3 | 3 |

【課題】

- ・入学時の入学金、校納金の納付時期が遅れる場合があり、適正時期に納付されていない。
- ・学生の受入れ方針や定員数について学内で継続的に検証されていない。

【今後の改善方策】

- ・入学金、校納金の納付については納付期限を伝え、期限を守らなかった場合は入学ができない旨通知することが必要ではないか。
- ・九州各県の日本語学校からの入学対象者が上級学校に求めるニーズを把握し、当校への入学対象者の数を早期に把握するよう努め学生募集活動に反映させる。

【委員からのご意見】

- ・各日本語学校との連携、情報交換もさることながら当学校の卒業生からも事前に情報提供を受けることも必要ではないか。
- ・定員数及び入学希望者数については、事前に福岡出入国管理局への報告、連携を取つてほしい。

(8)財務

| 評価項目 | 自己点検評価 | 学校関係者評価 |
|---------------------------|--------|---------|
| ・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか | 4 | 4 |
| ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものになっているか | 4 | 4 |
| ・財務について会計監査が適切に行われているか | 4 | 4 |
| ・財務情報公開の体制整備はできているか | 4 | 4 |

【課題】

- ・今後も予算決算管理及び昨年度対比による財務分析等の取り組みを継続的に行っていく。

【今後の改善方策】

- ・予算編成に関しては、過年度実績と次年度計画に基づき編成している。収入と支出のバランス、また、貸借対照表からも財務基盤は安定しており、学生に必要かつ快適な教育環境を提供できる財務体質を備えている。監査は、私立学校法及び寄付行為に基づき、監事による監査が適切に行われている。

【委員からのご意見】

委員の方からの意見は特になし。

(9)法令等の遵守

| 評価項目 | 自己点検評価 | 学校関係者評価 |
|--------------------------------|--------|---------|
| ・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか | 4 | 4 |
| ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか | 4 | 4 |
| ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか | 2 | 2 |

| | | |
|-----------------|---|---|
| ・自己評価結果を公開しているか | 2 | 2 |
|-----------------|---|---|

【課題】

- ・私立専修学校設置認可審査基準を遵守している。
- ・自己評価の実施が不十分である。

【今後の改善方策】

- ・教職員に法令遵守に関する研修への参加を促す。また、個人情報保護規程の取り扱いについて、教職員会議の場などで定期的な発信と共有に継続して取り組む。

【委員からのご意見】

- ・今後、自己評価の実施及び公開については「専修学校における学校評価ガイドライン」に則って実施すること。

(10)国際交流

| 評価項目 | 自己点検評価 | 学校関係者評価 |
|--------------------------------------|--------|---------|
| ・留学生に対する相談体制を整備しているか。 | 4 | 4 |
| ・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか | 4 | 4 |
| ・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか | 4 | 4 |

【課題】

- ・学校内に留学生選任スタッフを配置しており、担任を中心とした教員全員とともに適切な支援を行っている。

【今後の改善方策】

- ・当校のシステムアーキテクトコースの日本人学生及び田北調理師専門学校の日本人学生との交流を増やしていきたい。
- ・大分中央警察署警備課、福岡出入国管理局大分と連携を強化し、留学生の生活面、安全面においても配慮して欲しい。警察及び大学コンソーシアムおおいたに留学生制度、防犯講義など依頼しみたらどうか。

【委員からのご意見】

- ・多様性のある外国人留学生が増えているため、学内、学外（大学コンソーシアムおおいた等）の支援制度の活用、見直しも継続していただきたい。

以上